

「私の人生を変えてくれた 米山奨学生としての経験」

バスネット・エソダ(米山奨学生学友会 理事)
横浜国立大学大学院2年生 専攻: 開発協力

<一部抜粋>

米山ロータリーの奨学生になってから、私の人生が大きく変わりました。経済的な支援を受けられたお蔭で、当時の勉学に余裕ができました。支援があったからこそ、大学院の進学に自信を持ち、勉強を頑張ることができました。この場を借りて、あらためて感謝を申し上げます。

ロータリーにいた一年間は多くのことを学びました。社会奉仕活動を通じて、支援を必要とする人々に協力をするという精神が生まれました。そのため、2011年3月11日に起きて大震災の後、家族と在日ネパール人コミュニティと一緒に東北に炊き出しプログラムの一員としてボランティア活動をさせて頂きました。また、現在、米山学友会の一人として、活動させて頂いています。

私は大学院卒業後、ネパールの子どもと女性の生活質と地位向上のために働きたいです。この目標を達成するために、日本の留學生活とロータリーから学べた知識を活かします。また、ずっと日本とネパールの架け橋になれるよう頑張りますので、今後とも私を始め、全奨学生・学友に対する、ご支援とご協力を引き続きお願い申し上げます。どうもありがとうございます。

